

本年度初めて、水稻のいもち病について、県内でBLASTAM (AMeDASデータを用いた葉いもち感染予測システム) による感染好適条件及び準感染好適条件が出現しました。

高知県版BLASTAMによるいもち病の感染好適条件の判定結果(平成13年度)

5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	?	-	-	5/17
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/18
5/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/19
5/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/20
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/21
5/22	-	-		-		●		-	-	-		-	-	-	-	5/22
5/23		-		●	●	●		●	-	-		-	-	-	?	5/23
5/24						●	-	●	-	-		-	●	●	-	5/24
日付	本川	本山	大栃	高知	後免	安芸	橈原	須崎	窪川	室戸岬	江川崎	佐賀	宿毛	中村	足摺	日付

(平成13年5月24日現在)

<用語説明>

好適条件(●):

葉面湿潤条件が8時間以上、湿潤時間中の平均気温が15～25、前5日間の平均気温が20～25であり、葉いもちの大量感染に好適な気象条件が出現した場合。

準好適条件(～):

葉面湿潤時間は8時間以上あるが、その他の条件が一部不足している場合。これが続いても発病が始まるので注意が必要。

* 移植20日後程度までの好適条件の出現は、いもち病菌の感染に無効であり、BLASTAMの適用開始時期はそれ以降とする。

感染好適条件が、連続して広い地域で出現した場合、通常それから約1週間～10日後、広域に葉いもちの初発生が認められるようになります(全般的初発生時期)。さらにこの全般的初発生時期から約1週間～10日後に、発病の増加が始まります(発病増加開始期)。通常、この時期が粉剤等による一般的な防除適期となります。

要するに今年の場合、高知・南国・安芸・須崎・宿毛・中村では6月6日～6月14日(好適条件:●が出た、5月23・24日の2週間～20日後)が第1回目のいもち病防除適期】ということになります。

今後梅雨に入り、曇雨天が続くと思われますので、葉いもちの発生常発地においては注意をしてください。ただし、箱剤やバック剤で予防的にいもち病防除をしている地区はそれほど神経質になる必要はないものと思われます。

? 詳しい情報やメッシュ気象でのBLASTAM適応地域を見るには高知農業ネットの下記のホームページをご覧ください。

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/byoki/blastam/blaindex.htm>